HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	付属資料
Description	調査票
Relation	現代アイヌの生活の歩みと意識の変容 : 2009年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書. 小山透編著
Citation	北海道アイヌ民族生活実態調査報告 : Ainu Report, その2, 203-212
Issue Date	2012-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/48984
Type	other
File Information	AINUrep02_014.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

付　属　資　料

調　査　票

北海道大学アイヌ民族生活実態調査　インタビュー調査票

Ⅰ　アイヌ民族の血筋とアイデンティティについて

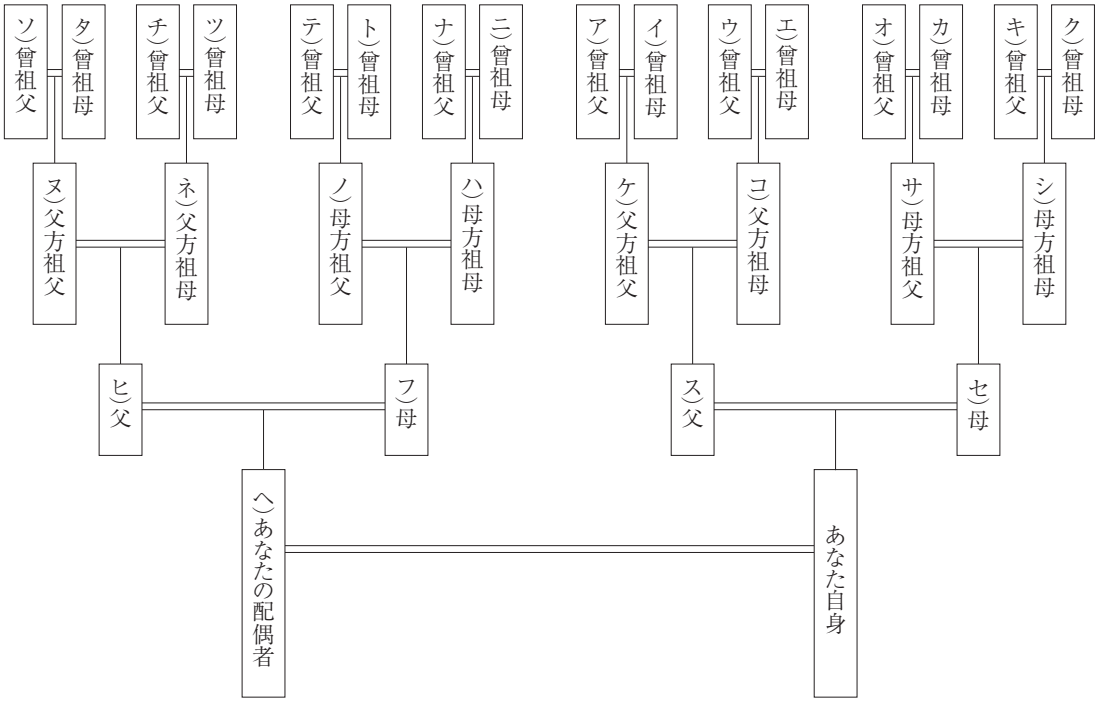
1. あなたの家族構成についてお聞きします。

結婚について（ア．未婚　イ．既婚　ウ．離別　エ．死別）

続　柄	年　齢	性　別	職　　業	同　　居
本　人		男・女		同居・別居（　　）
		男・女		同居・別居（　　）
		男・女		同居・別居（　　）
		男・女		同居・別居（　　）
		男・女		同居・別居（　　）
		男・女		同居・別居（　　）

2. あなたのご家族のなかでアイヌ民族の血筋の方はどなたですか。

※アイヌ民族の方には「○」を、アイヌ民族以外の日本人には「△」を、外国人には「□」を、不明には「?」をつける。



3. あなたは、ご自分をアイヌ民族として意識することはありますか。それはどのような時ですか。

4.（自身の血筋にアイヌ民族がおらず、配偶者がアイヌ民族の方）あなたは、配偶者の方がアイヌ民族であると感じることがありますか。それはどのような時ですか。

Ⅱ　これまでの生活史についてお聞きします。

5. あなたはどこで生まれましたか。

＿＿＿＿都道府県＿＿＿＿市町村　大字＿＿＿＿

6. あなたは子どものころに、家族の中で、衣食住に関するアイヌ民族の伝統文化（生活様式など）を体験してきましたか。それはどのようなものでしたか。いつ頃まで続いていましたか。

ア．アイヌ語を日常会話として使用する　　イ．入れ墨、耳輪（ニンカリ）をする
ウ．クマ猟、サケ漁　　エ．囲炉裏を中心とした生活、伝統的な家屋（チセ）に住む
オ．宝物（漆器・宝刀など）があり、大事にする
カ．イナウを捧げる。家にイナウ、ヌササン（イナウを並べた祭壇）がある
キ．日常的にアイヌの神々へ祈る（聖地への祈り、先祖供養を含む）
ク．クマなどの動物送り、器物送りをおこなう　　ケ．トゥス（巫術）にみてもらう

SQ. また、周囲にこれらの伝統文化をする人はいましたか。

7. あなたが子どものころに、アイヌの方と交流・ふれあいはありましたか。それは誰と、どのような交流でしたか。

8. あなたが子どものころに、アイヌ以外の方との関わりはどのようなものでしたか。

ア．仲良くつきあっていた　　イ．よくけんかをしていた　　ウ．いじめられた

エ．いじめていた　　オ．かかわりがなかった

SQ. それはなぜですか。また、子どもの頃のアイヌ以外の方との関わりについて、印象に残っているエピソードなどありましたら教えて下さい。

9. あなたが中学校を卒業するころ（15 歳の頃）、家族の暮らしぶりはいかがでしたか。

10. 生まれたところと現在住んでいるところは一緒ですか。引っ越したことがある場合、これまでに住んだ場所をすべて教えて下さい。

	場　　所	時　　期	転居の理由
1			
2			
3			
4			
5			

11. あなたはいつ頃、自身がアイヌ民族であることを自覚しましたか。そのきっかけはどのようなことでしたか。

12. あなたの学校歴を教えて下さい。

	学　　校	卒業 or 中退	地　　域
1	幼稚園・保育所	―	
2	小学校（尋常小学校）	卒業・中退	
3	中学校（高等小学校）	卒業・中退	
4	高等学校（全日制・定時制）（旧制中学校）	卒業・中退・在学中	
5	専修学校（高等課程・専門課程）	卒業・中退・在学中	
6	大学（短大・四年制）	卒業・中退・在学中	
7	その他		

13. あなたは進学に際し、ウタリ対策の援助（高等学校等進学奨励事業、高等学校通学費補助事業、専修学校等進学奨励事業、大学等修学資金等貸付など）を使いましたか。どの学校段階に対してですか。使わなかった場合、それはなぜですか。

SQ. ウタリ対策の援助以外に利用した奨学金制度はありますか。それはどのようなものですか。

14. 学校時代に、楽しかったのはどのようなことですか。

15. 逆に、学校時代につらかったのはどのようなことですか。また、それをどのように解決しましたか。
その時、相談した方や、参考にしたことはありますか。

16. あなたはもっと上の学校へ進学したかったですか。断念した場合、どこまで進学したかったですか。
また、進学を断念した理由は何ですか。

17. あなたが初めて就いた職業は何ですか。その職業を選んだ理由は何ですか。

18. あなたはこれまでにどのような仕事をしてきましたか。すべて教えて下さい。

	学　　校	時　　期	地　　域	就転職の 方法・ツテ	就職・転職理由
1					
2					
3					
4					
5					
6					

19. あなたが就職・転職をされる際に、大変だったこと・つらかったことはありますか。また、それをどのように解決しましたか。その時、相談した方や、参考にしたことはありますか。

20. あなたがお仕事をしていくうえで、楽しかったのはどのようなことですか。

21. あなたがお仕事をしていくうえで、つらかったのはどのようなことですか。また、それをどのように解決しましたか。その時、相談した方や、参考にしたことはありますか。

22. あなたご自身の年収は税込みでいくらくらいですか。また、世帯全体の年収はいくらくらいですか。

個人（　　）　世帯（　　）

ア．なし	イ．100 万円未満
ウ．100 万円以上～ 200 万円未満	エ．200 万円以上～ 300 万円未満
オ．300 万円以上～ 400 万円未満	カ．400 万円以上～ 500 万円未満
キ．500 万円以上～ 600 万円未満	ク．600 万円以上～ 700 万円未満
ケ．700 万円以上～ 800 万円未満	コ．800 万円以上～ 900 万円未満
サ．900 万円以上～ 1,000 万円未満	シ．1,000 万円以上

23.（結婚されている場合）結婚する際に、苦労したことはありますか。また、それをどのように解決しましたか。その時、相談した方や、参考にしたことはありますか。

24.（結婚されている場合）結婚・恋愛するときに、民族性を考慮した・されたことはありましたか。ある場合、それはどのようなことでしたか。
（結婚されていない場合）結婚・恋愛を考えた場合、民族性を考慮する・されることはありますか。

Ⅲ　アイヌ文化についてお聞きします。

25.あなたが普段実践している、あるいは心がけているアイヌ文化（アイヌ民族の生活様式）はありますか。

26.あなたが関わってみたいと考えているアイヌ文化はありますか。それはどのようなものですか。

＜アイヌ文化の例＞

ア．動物や物の霊送り（イヨマンテなど）	イ．カムイノミなど祭事	
ウ．伝統的な婚礼・地鎮祭・新築祝い	エ．伝統的な葬儀・先祖供養	
オ．イナウを捧げる	カ．神聖な場所への祈り	
キ．海・川・山でのタブーや約束事	ク．まじない・トゥス（巫術）など	
ケ．夢見を大事にする	コ．アイヌ語	サ．ユカラなど口承文芸
シ．歌と踊り	ス．工芸（編み物・刺繍・織物・木彫）	
セ．伝統的狩猟・農法・漁法	ソ．料理	タ．これら以外のアイヌ文化

Ⅳ　あなたやアイヌ民族の将来についてお聞きします。

27. あなたは今後、どのように生活していきたいと考えていますか。

ア．アイヌとして積極的に生きていきたい　　イ．特に民族は意識せず生活したい
ウ．極力アイヌであることを知られずに生活したい　　エ．その他

28.27 について、それはなぜですか。

29. あなたが「アイヌ民族」について思うことをご自由にお聞かせください。

30. あなたは、国や北海道に対し、どのようなアイヌ政策を望みますか。下記の選択肢を参考にお考えをお教えください。また、何を優先すべきか、その順番もお聞かせください。

（ア）学校教育にアイヌ民族のことを積極的に盛り込む
（イ）アイヌ子弟の大学への進学機会を拡大する（奨学金や優先入学制度など）
（ウ）アイヌの人々がアイヌ語・アイヌ文化に触れることができる機会を増やす
（エ）地名をアイヌ語で表記する
（オ）工芸織物技術が次の世代に受け継がれるように技術の向上、人材育成を図る
（カ）観光を盛んにして、アイヌ文化が国内・世界に広く知られるようにする
（キ）働く場所や機会を提供し、自立できるようにする
（ク）自治体と協力し、アイヌ文化を通じて地域を活性化する
（ケ）文化を受け継いでいくため、土地を利用し、公有地や川で草木や魚をとれるようにする
（コ）土地資源をアイヌ民族に返還する
（サ）アイヌ民族について研究する組織を作り、アイヌ民族出身の研究者を養成する
（シ）大学等に保管されている遺骨を国が慰霊する施設を作る
（ス）アイヌ民族と国がアイヌ政策を協議する場を設ける
（セ）国会や道議会にアイヌ民族特別議席を設ける
（ソ）その他

調査は以上です。長時間ありがとうございました。